



真庭市立川上小学校

学校だより

★校長室から No. 3 校長 林 咲子 令和2年5月1日★

全国緊急事態宣言継続中。

検温・手洗い・可能な限り

マスク着用を

お願いします。



★「たくましい川上小学校をめざして！」その2★

## 学校で～「素直に TRY!」

まずは、川小の子どもたちの良さを生かすことが一番だと考えました。川小の子どもたちの良いところは、なんと言っても「素直」なところ。言われたことやアドバイスされたこと、注意されたことなどを素直に聞いて、TRYしてみよう（やってみよう!）という取組を進めていきます。さっそく、こんな場面がありました。

【理科の授業のあと、春名先生が教材の花を教室に置き忘れていたので、職員室に届けてくれました。】

職員室に居た者には、

↓以下のやりとりしか、見えませんでした…。

6年児童「春名先生、これを忘れておられました。」

春名先生「持ってきてくれてありがとう。」

6年児童「この花は何という名前ですか？」

春名先生「ああ、これは、コブシです。」

6年児童「コブシ。わかりました。ありがとうございます。」

【教室にて】

6年児童「あ、先生、春名先生が花を忘れてます。」

担任「ほんとだ、職員室まで、持って行ってくれる？」

6年児童「はい、いいですよ。」

担任「じゃ、花の名前もきいてみたら？」



前後には、担任と児童との間に右の吹き出しのようなやりとりがあったそうです。「〇〇してみたら？」というアドバイスを素直に聞いて、やってみる。そして、その結果を報告する。そして褒められる。何気ないようですが、つながりの感じられる、いい場面だと思いました。

6年児童「先生！あの花は、コブシっていう名前でした！」

担任「そうなんだ。ちゃんと聞いたんだね。えらい！」



## 家庭で～「早寝・早起き・朝ご飯」と「お手伝い」

たくましさの基盤となる生活習慣と健康維持、生きようとする力の助けになる生活技術を身に付けるには家庭の協力が不可欠です。「早寝・早起き・朝ご飯」と「お手伝い」の習慣化をご家庭にお願いしたいと思います。特にお手伝いで家族の一員としての仕事ができれば、お子さんの自信にもつながります。任せるには少し忍耐も必要かと思いますが、ぜひ「おかげで助かった」「ありがとう」の声かけをよろしくお願いします。

毎月 10 日は「<sup>うちどく</sup>家読の日」家族みんなで本に親しもう！





## いつまで続く・・・。

新型コロナウイルス感染症対策で、放課後の消毒作業を続けています。しっかりと対策をとっていた人でも感染してしまったり、感染経路がわからなかったりと、心配はつきません。

「真庭市はなぜ、学校を休みにしないのか。」「マスクの着用率が低い。」などの声も聞かれます。逆に「学校を開いてくれていてありがたい。」「学校で友達に会えるからうれしい。」といった声もあります。

岡山県北でも感染者が確認されました。怖いのは、ものすごいスピードでその情報が広まっていることと、正しいか正しくないかの判断ができないくらい多様な情報があるということです。

学校では「感染した人を責めたり、あいまいな情報を広めたりするのはやめましょう。」と話をしています。大人の話子どもたちはよく聞いています。情報の取捨選択をよろしくお願いします。ウイルスも怖いですが、人が人を追い詰めるのも怖いです。

## ☆どの学年も落ち着いて学習できています！



1年生 ↑



2年生 ↑



3年生 ↑



4年生 ↑



5年生 ↑



6年生 ↑



いきいき ↑



のびのび ↑

参観日がなくなり、学校の様子が心配な保護者さんもおられると思います。これらの写真は、4月17日の授業風景です。どの学年も落ち着いてがんばっています。